令和６年度当初予算案の概要

資料１

**【1】　編　成　方　針**

府財政は、景気の緩やかな回復を背景に、府税収入が堅調に推移するものの、義務的に負担する社会保障関係経費が増大し続けるなど、今後も多額の収支不足が生じる見込みです。また、物価上昇や賃上げなどが及ぼす影響や、海外経済等の動向による景気の下振れリスクがあることから、府の財政は依然として予断を許さない状況にあります。

このため、今回の予算編成においては、引き続き財政規律を堅持しつつ、「府政運営の基本方針2024」を踏まえ、2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組み、万博のインパクトを最大限に活かした大阪の成長に向けた施策や、次世代への投資に限られた財源を重点配分しました。

**【2】　予　算　規　模**

単位：億円、％

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | R５当初 | R６当初 | 増減額 | 前年度比 |
| 一般会計 | 36,421 | 31,972 | ▲ 4,449 | 87.8 |
| 特別会計 | 30,824 | 28,903 | ▲ 1,921 | 93.8 |
| 計 | 67,245 | 60,875 | ▲ 6,370 | 90.5 |

(各表においては、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。)

○全体の特徴

|  |
| --- |
| * 府税収入は景気の緩やかな回復を背景に実質税収ベースで増加（P6） * 人件費や社会保障関係経費の増加に加え、一般財源を要する一般施策経費が増（P2、4、5） * その結果、収支均衡のための財政調整基金の取崩額は、前年度から増加（P8） |

|  |
| --- |
| （一般会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・新型コロナウイルス感染症対策費の減（▲３，５４１億円）や中小企業向け制度融資に係る預託金の減（▲１，２６８億円）  ・定年年齢引き上げの影響（６１歳職員の定年退職）などによる人件費の増（＋２８６億円）  ・支出が義務付けられている社会保障関係経費の自然増などによる増（＋２６２億円） |
| （特別会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・府債の元金償還等の減少などによる公債管理特別会計、大阪府営住宅事業特別会計の予算規模の減（▲１，５０８億円） |

|  |
| --- |
| ○一般歳出ベース：２兆５，３４９億円、前年度当初比 ８５．７％、４，２２４億円の減。  （公債費、税関連歳出、基金への積立金を除く歳出合計） |

○義務的支出：１兆９，８４６億円、前年度当初比 １０２．７％、５１９億円の増。

（人件費、公債費、税関連歳出、社会保障関係経費（義務的経費）の合計）

・一般会計当初予算の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８ | H２９ | H３０ | R１ | R２ | R３ | R４ | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 歳出総額  （調整前）  一般歳出 | 28,215  （32,772）  22,062 | 26,393  （30,866）  19,803 | 25,543  19,513 | 25,983  20,098 | 26,368  19,841 | 35,086  28,240 | 37,798  31,060 | 36,421  29,573 | 33,311  26,138 | 31,972  25,349 |

＊H29年度以前の歳出総額は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

**【3】　一般会計の内訳**

**１　歳　出**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ○人　件　費：７，０９５億円（前年度当初比 １０４．２％、＋２８６億円）  給与改定の実施や、定年年齢引き上げの影響（６１歳職員の定年退職）による退職手当の増加などにより、２８６億円の増。 | | | | | | | |
| 令和６年度 | | 対前年度比 | |
| ・条例定数  （一般会計） | 知事部局  教育庁（小中高等学校教職員等）  公安委員会（警察職員）  その他 | 7,250  43,608  23,292  194 | 人  人  人  人 | 0  ▲ 271  0  0 | 人  人  人  人 |
| 計 | 74,344 | 人 | ▲ 271 | 人 |

・人件費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８  決算 | H２９  決算 | H３０  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 人件費  給料等  退職手当 | 8,240  7,514  726 | 6,793  6,285  508 | 6,726  6,222  504 | 6,736  6,269  467 | 6,671  6,231  440 | 6,600  6,186  415 | 6,764  6,355  409 | 6,809  6,625  184 | 6,732  6,551  181 | 7,095  6,740  356 |

|  |
| --- |
| ＜参考＞令和５年度の主な給与改定について  １　給料表の改定（１．２９％）　　　　　　　【実施時期：令和５年４月１日】  ２　期末勤勉手当を０．１月分引上げ　　　　　【実施時期：令和５年６月期・１２月期】 |

|  |
| --- |
| ○公債費：３，２２０億円（前年度当初比 １０１．４％、＋４４億円）  府債の満期一括償還に備える積立金が減少するものの、最終償還を迎える府債の元利償還の増加などにより、４４億円の増。 |

・公債費、府債残高の推移（一般会計）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８  決算 | H２９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 公債費  *(参考)府債残高* | 3,141  *53,691* | 3,128  *53,661* | 3,159  *53,626* | 3,260  *53,575* | 3,237  *54,042* | 3,320  *55,546* | 3,376  *54,014* | 3,176  *53,558* | 3,301  *53,148* | 3,220  *51,758* |

＊府債残高は、臨時財政対策債等を含む数値。府債残高については、７ページ参照。

|  |  |
| --- | --- |
| ○建設事業費： | １，９７９億円（前年度当初比 １１０．６％、＋１９０億円）  大阪の成長を実現する新たなインフラ整備など、府にとって必要性・緊急性が高い事業について、計画的に整備を推進。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ・補助事業費： | ８８８億円（前年度当初比 ９６．９％、▲２８億円）  モノレール道整備にかかる国庫補助事業の減などにより、２８億円の減。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ・単独事業費： | １，０９１億円（前年度当初比 １２５．１％、＋２１９億円）  大阪公立大学新キャンパス整備関連事業の進捗やファシリティマネジメント基本方針に基づく公共施設等の更新・修繕などにより、２１９億円の増。 |

・建設事業費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８  決算 | H２９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 建設事業費  補　　助  うち国直  単　　独 | 1,617  851  108  766 | 1,513  855  58  658 | 1,592  902  73  690 | 1,519  886  84  634 | 1,469  971  106  497 | 1,567  996  112  571 | 1,604  883  85  721 | 1,789  916  73  872 | 1,774  975  88  799 | 1,979  888  94  1,091 |

|  |  |
| --- | --- |
| ○一般施策経費： | １兆５，７４６億円（前年度当初比 ７７．０％、▲４，７０４億円）  支出が義務付けられている社会保障関係経費の増加があるものの、新型コロナウイルス感染症対策費や中小企業向け制度融資預託金の減少などにより、４，７０４億円の減。 |

・一般施策経費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８  決算 | H２９  決算 | H３０  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般施策経費  うち貸付金  うち補助金等 | 10,647  3,049  6,108 | 10,337  2,661  6,144 | 10,046  2,483  5,770 | 10,156  2,278  6,039 | 21,697  8,730  10,976 | 30,081  7,729  18,076 | 22,364  7,085  11,699 | 20,450  7,361  9,946 | 17,494  6,134  8,816 | 15,746  6,095  7,763 |

＊社会保障関係経費の状況については、５ページ参照。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ≪主なもの≫　　　　　　　　　　　　　　R６当初 | | |
| ・中小企業向け制度融資預託金  ・国保・後期高齢者医療関係費  ・介護給付費負担金  ・私学関係助成  ・障がい者自立支援給付費等負担金 | ６，０６９  　２，３８６  １，２０２  ９３９  ７８７ | 億円  億円  億円  億円  億円 | ・施設型給付費等負担金  ・万博推進局運営費負担金  ・児童福祉施設事業費  ・地域医療介護総合確保基金事業  ・児童手当給付費 | | ５３４  ３４２  １９９  １８３  １６８ | 億円  億円  億円  億円  億円 |
|
|
| ≪増減の大きいもの≫　　R５当初→R６当初 | | | |  | | |
| （補助金等） | | | （貸付金）  ・中小企業向け制度融資預託金  （その他）  ・新型コロナウイルス感染症対策費  ・新型コロナウイルス感染症宿泊施設確保等事業費 |  | | |
| ・万博推進局運営費負担金  ・障がい者自立支援給付費等負担金  ・私立高等学校等生徒授業料支援補助金  ・新型コロナウイルス感染症対応資金融資利子補給金  ・新型コロナウイルス感染症対策費  （積立金）  ・地域医療介護総合確保基金積立金 | ＋２６２  ＋６８  ＋６６  ▲１９７  ▲２，５２５  ▲４４ | 億円  億円  億円  億円  億円  億円 | ▲１,２６８  ▲７９４  ▲２７３ | | 億円  億円  億円 |
|

**■令和６年度当初予算における社会保障関係経費の状況**

**＜社会保障関係経費の内訳＞**

* 社会保障関係経費（一般財源ベース）は、前年度当初比で100.9％、55億円の増。

単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目等 | | R5当初 | | R6当初 | | 増　減 | |
| 総　額 |  | 総　額 |  | 総　額 |  |
| 一般財源 | 一般財源 | 一般財源 |
| 福祉費 | 社会福祉費  重層的支援体制整備事業交付金など | 59  (27) | 45  (27) | 74  (37) | 55  (37) | 14  (10) | 10  (10) |
| 障がい者福祉費  障がい者自立支援給付費等負担金や自立  支援医療費（更生医療）給付費など | 940  (796) | 923  (793) | 1,008  (862) | 996  (859) | 68  (66) | 72  (66) |
| 高齢者福祉費  介護給付費負担金や低所得者保険料軽減  負担金など | 1,565  (1,277) | 1,332  (1,277) | 1,455  (1,304) | 1,338  (1,304) | ▲110  (28) | 6  (27) |
| 児童福祉費  保育所等にかかる施設型給付費等負担金や  児童福祉施設事業費など | 1,234  (1,038) | 1,069  (956) | 1,303  (1,046) | 1,156  (963) | 69  (8) | 87  (7) |
| 生活保護費  生活保護給付費など | 45  (43) | 25  (24) | 46  (45) | 25  (25) | 1  (3) | 0  (0) |
| 健康  医療費 | 公衆衛生費等  措置入院及び通院医療費、難病対策費など | 4,219  (326) | 603  (163) | 765  (359) | 363  (180) | ▲3,455  (33) | ▲240  (16) |
| 医薬費  後期高齢者医療給付費負担金や国民健康  保険基盤安定事業費負担金など | 2,433  (2,297) | 2,317  (2,280) | 2,604  (2,403) | 2,426  (2,386) | 171  (105) | 110  (105) |
| 教育費 | 文教諸費等  私立幼稚園等にかかる施設型給付費等負担  金や私立専門学校授業料等減免事業費など | 181  (181) | 155  (155) | 192  (192) | 164  (164) | 10  (10) | 9  (9) |
| 合　 計 | | 10,676  (5,985) | **6,468**  (5,676) | 7,447  (6,247) | **6,524**  (5,917) | ▲3,229  (262) | **55**  (241) |

＊（　）内は、法令等によって支出が義務付けられている経費の額。

＊上表の数値は職員人件費を含まない。

＊公衆衛生費等は、環境衛生費、保健所費を含む。

＊文教諸費等は、文教諸費及び大学費のうち、消費税率引上げによる幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化にかかる経費

（国制度分）の額。

**＜地方消費税増収分と社会保障関係経費＞**

・地方消費税率引上げによる増収額（1,251億円）は、全額を社会保障関係経費（6,524億円）の財源

として活用。

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | R5当初 | R6当初 | 増減 |
| 【歳入】　地方消費税のうち社会保障財源相当額（市町村への交付金を除く） | 1,239 | **1,251** | 13 |
| 【歳出】　社会保障関係経費（一般財源ベース） | 6,468 | **6,524** | 55 |

**２　歳　入**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○府税収入  ・令和６年度見込み | １兆４，６０８億円　（前年度当初比　１００．３％　　　＋３９億円） | | | |
| ・実質税収 | １兆２，９９０億円　（前年度当初比　１０２．３％　　＋２９８億円） | | | |
| ＊定額減税の実施による個人府民税の減収や輸入金額の減少による地方消費税の減収がある一方で、経済活動の回復に伴う人流の回復による企業収益の押し上げで法人二税が増収となることから、全体では令和５年度当初予算と比べ増収。 | | | | |
| 法人二税 | ５，０９７億円 | （前年度当初比 | １０４．７％ | ＋２２９億円） |
| 地方消費税 | ４，４６８億円 | （前年度当初比 | ９８．３％ | ▲７８億円） |
| 個人府民税 | ２，９７７億円 | （前年度当初比 | ９５．４％ | ▲１４４億円） |
| ＊ 定額減税による減収見込み（１９８億円）は、地方特例交付金により補塡される。 | | | | |
| 宿泊税 | ２７億円 | （前年度当初比 | ２３１．３％ | ＋１５億円） |

・府税収入の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２  決算 | H１９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 府税収入  実質税収  法人二税 | 14,731  13,510  7,982 | 13,425  11,591  5,667 | 12,778  11,890  4,419 | 13,039  12,359  4,702 | 12,813  11,347  4,103 | 13,960  12,285  4,565 | 14,521  13,052  4,946 | 14,569  12,692  4,869 | 14,745  13,157  5,008 | 14,608  12,990  5,097 |

＊平成29年度以前の府税収入は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

＊実質税収は、（府税＋譲与税＋精算金収入）－（税関連の市町村交付金、精算金支出、還付金等）。

＊法人二税のピークは、平成元年度（８，３５２億円）。

|  |
| --- |
| ○地方譲与税：１，６６３億円 （前年度当初比　１１２．６％、＋１８６億円）  ・うち特別法人事業譲与税：１，６２３億円 （前年度当初比 １１２．９％、＋１８６億円） |

|  |
| --- |
| ○地方交付税：３，１８７億円 （前年度当初比 １０１．３％、＋４０億円）  ・臨時財政対策債を加算した額：３，４９７億円（前年度当初比 ９１．１％、▲３４０億円） |

・地方交付税の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８  決算 | H２９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 地方交付税  [臨時財政対策債] | 2,764  [1,519] (4,283) | 2,448  [1,515] (3,962) | 2,360  [1,532] (3,892) | 2,478  [1,389] (3,867) | 2,594  [1,386] (3,980) | 3,804  [2,800] (6,604) | 3,121  [409] (3,530) | 3,147  [690] (3,837) | 3,394  [667] (4,061) | 3,187  [310] (3,497) |

＊（　）内は、臨時財政対策債を加算した数値。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○府　債： | １，５１６億円（前年度当初比 ８７．０％、▲２２７億円）  通常債（※）が増加するものの、地方交付税の代替として発行する臨時財政対策債の減少により、府債は２２７億円の減。  　（※）地方財政法第５条に基づき公共施設又は公用施設の建設事業費等の財源に充当する  地方債。 | | | |
| ・通常債  ・臨時財政対策債  ・行政改革推進債 | | １，０９８億円  ３１０億円  １０８億円 | （前年度当初比 　１１４．６％  （前年度当初比 　　４４．９％  （前年度当初比 　１１３．７％ | ＋１４０億円）  ▲３８０億円）  ＋１３億円） |

⇒　臨時財政対策債等を除いた府債残高は、平成１９年度以降減少。全会計の府債残高は前年度に比べて減少。

・府債発行額の推移　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２８  決算 | H２９  決算 | H３０  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５ | | R６  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般会計  府債発行額 | 2,939 | 2,404 | 2,413 | 2,314 | 3,087 | 3,682 | 1,132 | 1,743 | 1,648 | 1,516 |
| 一般会計  府債残高 | 53,691 | 53,661 | 53,626 | 53,575 | 54,042 | 55,546 | 54,014 | 53,558 | 53,148 | 51,758 |
| 全会計残高  うち臨財債等残高  うちその他残高 | 62,327  [31,925]  [30,403] | 61,731  [32,661]  [29,069] | 61,402  [33,089]  [28,313] | 61,065  [33,244]  [27,822] | 61,374  [33,898]  [27,476] | 62,741  [35,550]  [27,190] | 61,038  [34,590]  [26,447] | 59,929  [33,618]  [26,311] | 59,511  [33,596]  [25,916] | 58,000  [32,321]  [25,679] |

＊臨財債等とは、臨時財政対策債、減税補塡債、減収補塡債及び臨時税収補塡債。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○その他歳入： | ８，４４３億円（前年度当初比 ８７．１％、▲１，２４７億円）  財政調整基金繰入金の増加があるものの、中小企業向け制度融資預託金の減による貸付金元利収入の減少などにより、その他歳入は１，２４７億円の減。 | | | |
| ・貸付金元利収入  ・財政調整基金繰入金  （交付税精算対応分） | | ６，１２９億円  ６０９億円 | （前年度当初比 ８２．８％  （前年度当初比 １３０．６％ | ▲１，２６９億円）  ＋１４３億円） |

|  |
| --- |
| ＜参考＞地方交付税算定における精算制度への対応  　普通交付税のうち、国の地方財政計画における国税・地方税見込みと府税等の実績との乖離により生じた増収分については、翌年度以降の普通交付税算定において是正（精算）されることから、当年度の歳入のうち必要な額を財政調整基金に積み立て、年度間の財政調整を行う。 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| ○財政調整基金  の取崩し | ：６８０億円　（前年度当初比 １２３．０％、＋１２７億円） |
| 社会保障関係経費や人件費の増加に加え、一般財源を要する一般施策経費の増加などにより、財政調整基金の取崩しは、１２７億円の増。 |
|  |

・財政調整基金残高の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | H２１ | H２２ | H２３ | H２４ | H２５ | H２６ | H２７ | H２８ | H２９ | H３０ |
| 残　高 | 6  (434) | 78  (1,256) | 784  (1,385) | 711  (1,438) | 1,037  (1,500) | 1,039  (1,612) | 843  (1,602) | 544  (1,479) | 584  （1,475） | 1,117  (1,489) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R１ | R２ | R３ | R４ | R５ | R６ |  |  |  |  |
|  | 1,148  (1,562) | 1,043  (1,706) | 507  (2,037) | 1,244  (2,171) | 1,619  (2,262) | 1,583 |  |  |  |  |

＊上段は当初見込み、下段は令和４年度までは決算額、令和５年度は７号補正後見込み。

＊上記残高には、地方交付税算定における精算制度等への対応のための一時的な積立分を含まない。

　（参考）財政調整基金の積立て・取崩しについて

単位：億円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 取崩額 | 積立額 | 残　高 |
| ◆ | 令和５年度当初予算編成 | 552 |  | 1,619 |
| ◇ | 令和４年度決算取崩し  （最終取崩しなし⇒決算取崩しなし） | 0 |  | 1,619 |
| ◇ | 令和４年度決算剰余金の1/2編入 |  | 91 | 1,710 |
| ◆ | 令和５年度１号～６号補正 | 7 |  | 1,703 |
| ◆ | 令和５年度７号補正  （取崩額　現計560億円⇒最終　皆減） | ▲560 |  | 2,262 |
| □ | 令和６年度当初予算編成 | 680 |  | 1,583 |